

昭和62年11月10日

舞鶴市民新聞

S 62.11.10

模擬店や舞台発表で大にぎわい

みずなぎ学園文化祭

市内鹿原の社会福祉法人「みずなぎ学園」(岡本四寿園長、百四人)の第四回文化祭が八日、同園一帯で行われ、家族やボランティアなど大勢の市民でにぎわった。

同園は精神薄弱者の授産、更生施設で、粉石けん製造、陶器、野菜づくりなど授産事業に取り組んでいる。文化祭は、園生の作業や学習の成果を一般市民に紹介し、同園への理解を深めてもらうのが目的。園内には職員やボランティアの人たちがつくったうどんや焼き、おでんなどの模擬店がズラリ。



にぎわう模擬店

園生が作った製品の即売コーナーも設けられた。同園が力を入れている粉石けん、陶芸品、野菜などが格安で売られ、人気を集めた。また、クラブ活動などの自主活動で取り組んだ作品を集めた「自主作品展」のコーナーを熱心に見て回る姿も見られた。

午後からは舞台発表があった。授産部園生、ボランティア、音楽クラブ、保護者、更生部園生の順に歌や劇、踊りなどさまざまな出し物が披露

され、園生の芸術者ぶりに大きな声援が送られていた。

昭和62年11月24日

舞鶴市民新聞

S 62.11.24

障害者福祉に理解を

行動デーに集会、パレード

舞鶴市社会福祉協議会、同市ボランティアセンター、同市身体障害者団体連合会は、来月六日を「87障害者の日」行動デー」とし、市内南田辺の西総合会館で交流集会を開くほか、西地区の目抜き通りをパレードして、市民に障害者問題への理解を呼びかける。

この「行動デー」は、五十六年に国際障害者年推進本部が、十二月九日の「障害者の日」を真に有意義なものにしようと定めたもの。舞鶴でも障害者福祉問題について市民の理解と協力を得、障害者の社会参加と平等を実現することを目指して、市社会福祉協議会らが行事を企画した。

実施主管は、障害者の日行動デー実行委員会。各障害者団体、市ボランティアセンター所属のボランティアグループ、「みずなぎ学園」「まいつる共同作業所」「こひつ

じの苑舞鶴」の入所者、利用者が参加する。

行動デーのテーマは「みんな障害者福祉の推進を」。

午後一時から西総合会館内で

交流集会を催し、参加者アピールを採択した後、同二時からパレードに移る。コースは、市民会館前から国道27号を北へ。広小路から同175号を経て平野屋通りに入り、真名井通り、JR西駅前広場を通って西総合会館に帰着する。

さらに茶話会や障害者福祉映画「いのちの詩」を鑑賞して午後四時ごろ閉会の予定。